

# 建設 RX コンソーシアム

## 入会のご案内

### 目次

1. 建設 RX コンソーシアム設立趣意書
2. 建設 RX コンソーシアムの目的等
3. 建設 RX コンソーシアムの体制
4. 規約およびガイドラインの構成
5. 分科会活動の概要
6. 会員種別および会員資格
7. 年会費
8. 入会手続き
9. 資料



## 1. 建設 RX コンソーシアム設立趣旨書

昨今の建設業界では、就労人口の減少や就労者の意識変化などの社会的背景を受け、労働力不足の解消、建設現場での生産性・安全性の向上、コスト削減等の実現が喫緊の課題となっています。こうした中、ゼネコン各社は建設施工に活用するロボット（施工ロボット）や IoT を活用した施工支援ツール（IoT アプリ等）の開発を進めていますが、各社がそれぞれ開発を進めることは非効率であり、過大な開発コストが発生することも少なくありません。また、実際に施工ロボット・IoT アプリ等を使用する協力会社にとっては、ゼネコン各社がそれぞれの仕様で開発した施工ロボット・IoT アプリ等の操作の習熟に時間を要することが新たな課題となっています。

そこで、我が国の建設業界を担う法人及びこれに協力・支援する法人が中心となって、施工ロボット・IoT アプリ等の開発と利用に係るロボティクストランスフォーメーション（Robotics Transformation（ロボット変革））の推進について協働して、資本の集中・技術集約を図るため、建設 RX コンソーシアム（以下「本コンソーシアム」といいます。）を設立し、本コンソーシアムの下に設置される分科会において、ロボット及び IoT アプリ等の共同研究開発を実施することといたしました。

本コンソーシアムの活動を通じて、建築物の安全性を確保しつつ、技術開発のコスト削減、リスクの分散及び開発期間の短縮を図り、施工ロボット・IoT アプリ等の価格帯を下げることで協力会社による導入を促進するなど、その普及を加速させることにより、上記の建設業界の課題を解決し、もって建設業界全体の生産性及び魅力を向上させて、就労者のワークライフバランスの向上・処遇の改善を図り、ひいては若年層の就労を促進するとともに、協力会社の負担を軽減し、かつ、社会の持続的発展及び国民生活の安定・向上に貢献してまいります。

2021年9月22日

### 建設 RX コンソーシアム発起人

鹿島建設株式会社	専務執行役員	伊藤 仁
株式会社竹中工務店	取締役執行役員副社長	中嶋 啓吾
清水建設株式会社	常務執行役員	山崎 明

## 2. 建設 RX コンソーシアムの目的等

### (1) 本コンソーシアム（以下、本会）の目的

我が国の建設業界を担う法人及びこれに協力・支援する法人が、各々の自主性及び協業を尊重しつつ、建設施工に活用するロボット及びIoT アプリ等の開発と利用等について協働することで、技術開発のコスト削減、リスクの分散及び開発期間の短縮を図り、その普及を加速させることにより、労働力不足の解消、作業現場での生産性・安全性の向上、コスト削減等の建設業界の共通の課題を解決し、もって建設業界全体の生産性及び魅力を向上させ、かつ社会の持続的発展及び国民生活の安定・向上に寄与すること。

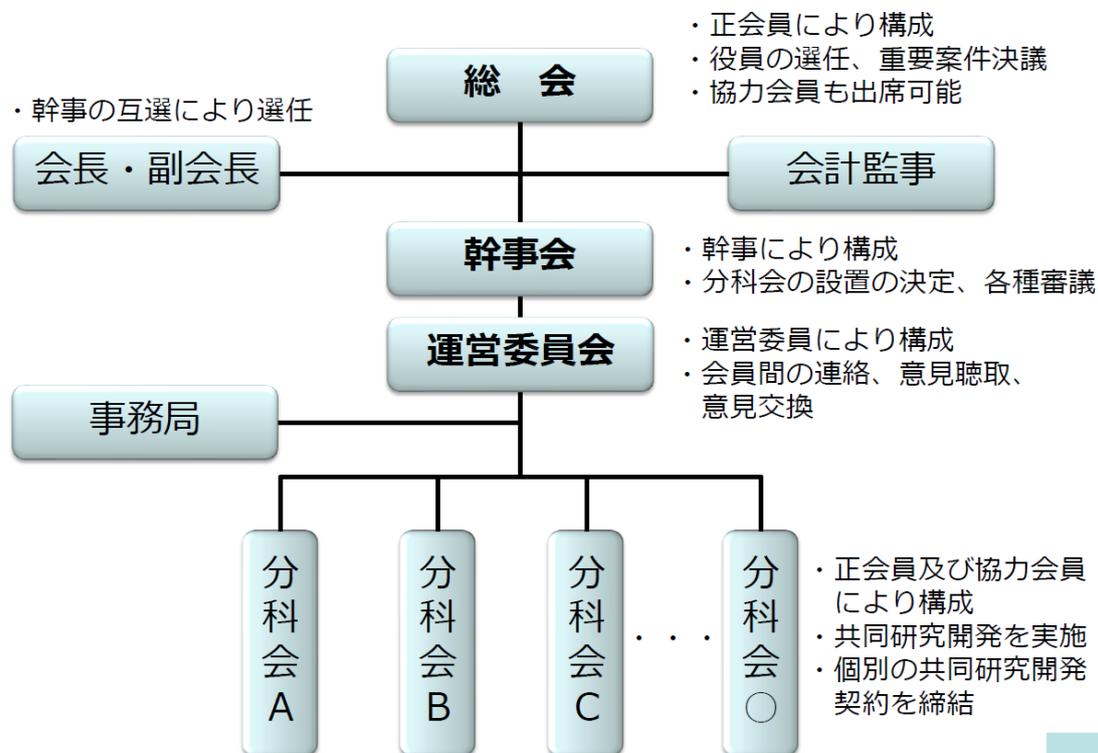
### (2) 対象技術

施工関連技術のうち、ロボット、機械装置、ソフトウェア、IoT 技術に関連するもの

### (3) 本会の活動／実施項目

- (ア) 新規技術の共同研究開発、既存技術の機能向上・改良
- (イ) 既存ロボット技術等の相互利用
- (ウ) その他の上記目的を達成するために必要な活動

## 3. 建設 RX コンソーシアムの体制



#### 4. 規約およびガイドラインの構成

規約は、全 15 章、66 条から構成されており、関連するガイドラインとの関係は図-1 の通りです。

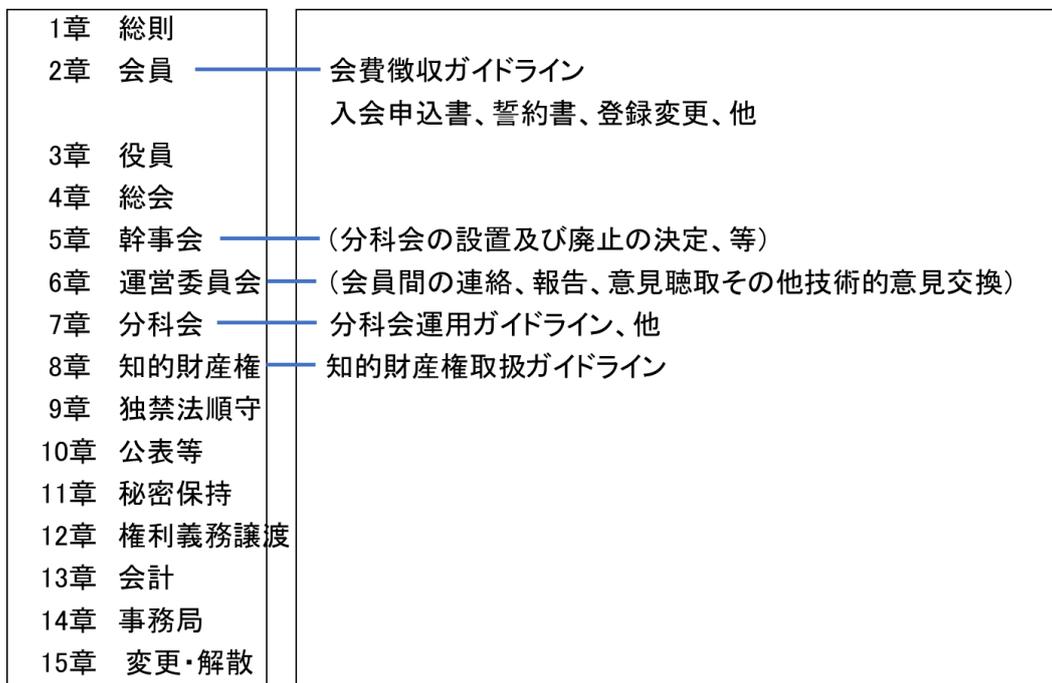


図-1 規約の構成および規約とガイドラインの関係

#### 5. 分科会活動の概要

分科会活動に関しては、分科会運営ガイドラインを設けて活動の詳細を規定しています。幹事会、運営委員会で協議決定した共同研究開発は、分科会で実施します。この分科会では、参加を希望する会員間で個別の共同研究契約を締結し、費用負担、役割分担、成果帰属などを取り決めます。分科会での活動の進捗や成果は、運営委員会や総会を通じて会員間で共有するとともに、活用展開が可能となった技術は、レンタル会社などの協力会員等を通じてコンソーシアムの外部にも提供してゆくことを想定しています。

#### 6. 会員種別および会員資格

##### (1) 正会員

一般社団法人日本建設業連合会に加盟する全国的に総合建設業を営む一定規模以上の法人で、自社技術開発を行う研究機関を有しており、かつ、本会の目的に賛同する者。

##### (2) 協力会員

次のいずれかに該当する法人で、かつ、本会の目的に賛同し、分科会への参加及び本会が提供する情報の入手等を行おうとする者。

- ① 正会員以外の総合建設業を営む法人

- ② レンタル業者、ロボット製造業者、IT ベンダ、商社、専門工事業者等

## 7. 年会費

年会費は、コンソーシアムの事務局運営のためのものです。後述する、分科会活動の開発ないしは試行のための費用は別途必要になります、本会はいかなる分科会に対しても費用負担を行いません。

正 会 員：20 万円／年

協力会員：10 万円／年

納入された年会費は、いかなる理由があっても返還しませんのでご注意ください。また、事業年度（本会の事業年度は、4 月から翌年 3 月）の途中で入会する場合であっても、年会費の全額を納入して頂きます。

## 8. 入会手続き

ご入会に際しては、コンソーシアムの規約、ガイドラインをご確認頂いたうえで、下記の手続きによりお申し込みください。

### (1) 入会申込

(ア) 本会に入会しようとする方は、建設 RX コンソーシアム規約および付随する各種ガイドライン等の内容に同意することを条件として、本会所定の入会申込書及び誓約書\*1を会長宛て（窓口：事務局\*2）に提出して入会を申し込んでください。申し込み後、幹事会による承認を経て入会が認められます。

(イ) 正会員は、法人を代表する「指定代表者」及び運営委員会に出席する「運営委員」を決めて、入会申込書に記入し、ご提出ください。

(ウ) 協力会員は、指定代表者及び連絡担当者を決めて、入会申込書に記入し、ご提出ください。

※1 誓約書は、代表取締役名でご提出ください。

※2 事務局 宛先

〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1 竹中工務店 技術本部 井上竜太 宛

e-mail : inoue.ryouta@takenaka.co.jp

### (2) 変更届

正会員及び協力会員は、指定代表者、運営委員又は連絡担当者を変更する場合、すみやかに本会所定の変更届を事務局に提出してください。

## 9. 資料

- ① 建設RXコンソーシアム規約および各種ガイドライン
- ② 入会申込書および宣誓書
- ③ 個人情報保護方針

以上